



辰巳砂 昌弘前学長が『NIMS Award 2026』を受賞

大阪公立大学 エグゼクティブアドバイザーの辰巳砂 昌弘氏(前学長、大阪府立大学 名誉教授)が、NIMS(物質・材料研究機構)の『NIMS Award 2026』を受賞することが決定しました。NIMS Awardは、物質・材料科学の主要4分野(環境・エネルギー材料、機能性材料、構造材料、基礎・基盤技術)を対象に、科学技術の飛躍的進展に貢献した研究者に授与される国際賞です。辰巳砂氏は、東京科学大学 特命教授の菅野 了次氏とともに、次世代蓄電池として世界的な研究開発が加速する「全固体電池」の分野で飛躍的なイノベーションをもたらしたことから受賞決定に至りました。授賞式および受賞記念講演は、11月10日(火)につくば国際会議場で開催する「NIMS Award Symposium 2026 - Engineering the Future of Solid State Batteries」にて行われます。

(シンポジウムについて:<https://www.nims.go.jp/nims-award-symposium/ja/index.html>)

■研究成果の概要

Li₂S-P₂S₅系に代表されるイオン伝導性ガラスおよびガラスセラミック材料の創製を通じて、高速イオン伝導を示す非晶質・準安定結晶材料を開拓し、硫化物系固体電解質の実用化に向けた材料基盤を築きました。本研究は、菅野氏の成果とともに、非晶質材料から結晶質材料に至る広範な物質群において高イオン伝導を実現する統一的な設計指針を確立するとともに、電極/電解質界面の理解を深化させることで、全固体電池の性能向上と実用化に向けた科学的基盤を確立しました。

■辰巳砂 昌弘氏のプロフィール・コメント

<プロフィール>

大阪大学大学院工学研究科修了。工学博士。

1980年大阪府立大学工学部助手。1988年～1989年米国パデュー大学、米国アリゾナ州立大学 博士研究員。1996年大阪府立大学工学部教授。2015年同大学大学院工学研究科長。2019年同大学学長 兼 公立大学法人大阪副理事長。2022年大阪公立大学学長。2025年より現職。



<コメント>

このたびは、国際賞「NIMS Award」の受賞という大きな名誉にあずかることとなり、驚きと共に、大変嬉しくまた有り難く思っております。40年以上にわたり研究室で取り組んできたガラス系固体電解質の開発と全固体電池への応用研究が高く評価され、今回の受賞に繋がりました。この研究を楽しく、力強く進めることが出来たのは、ひとえに私を研究の道に導いてくださった先生方や国内外の共同研究者、研究室のスタッフ、卒業生・学生諸君のおかげです。多くの皆さまに心より感謝申し上げます。

■NIMS Awardについて

NIMS Awardは、物質・材料科学の四つの主要分野(①環境・エネルギー材料、②機能性材料、③構造材料、④基礎・基盤技術)を対象として、2007年より毎年テーマを変え、物質・材料に関わる科学技術において飛躍的な進歩をもたらした個人又はグループに授与している国際賞です。外部有識者とNIMS研究者により構成された、NIMS Award 選考委員による推薦と厳正な選考を通じて、国際的に優れた業績が称えられます。NIMS Award2026では、「環境・エネルギー材料」分野より、「Energy Storage Materials」をテーマとして選考が行われました。

【取材に関する問い合わせ先】

大阪公立大学 広報課 担当:久保 TEL:06-6967-1834 E-mail:koho-list@ml.omu.ac.jp